

# 市町村版標準仕様の採用事例

～地域の特性を活かしつつ～

2017年3月6日

# 森林ICTプラットフォームの概要

## 森林ICTプラットフォーム

森林資源情報

所有者情報

路網情報

施業履歴情報

市町村

情報連携

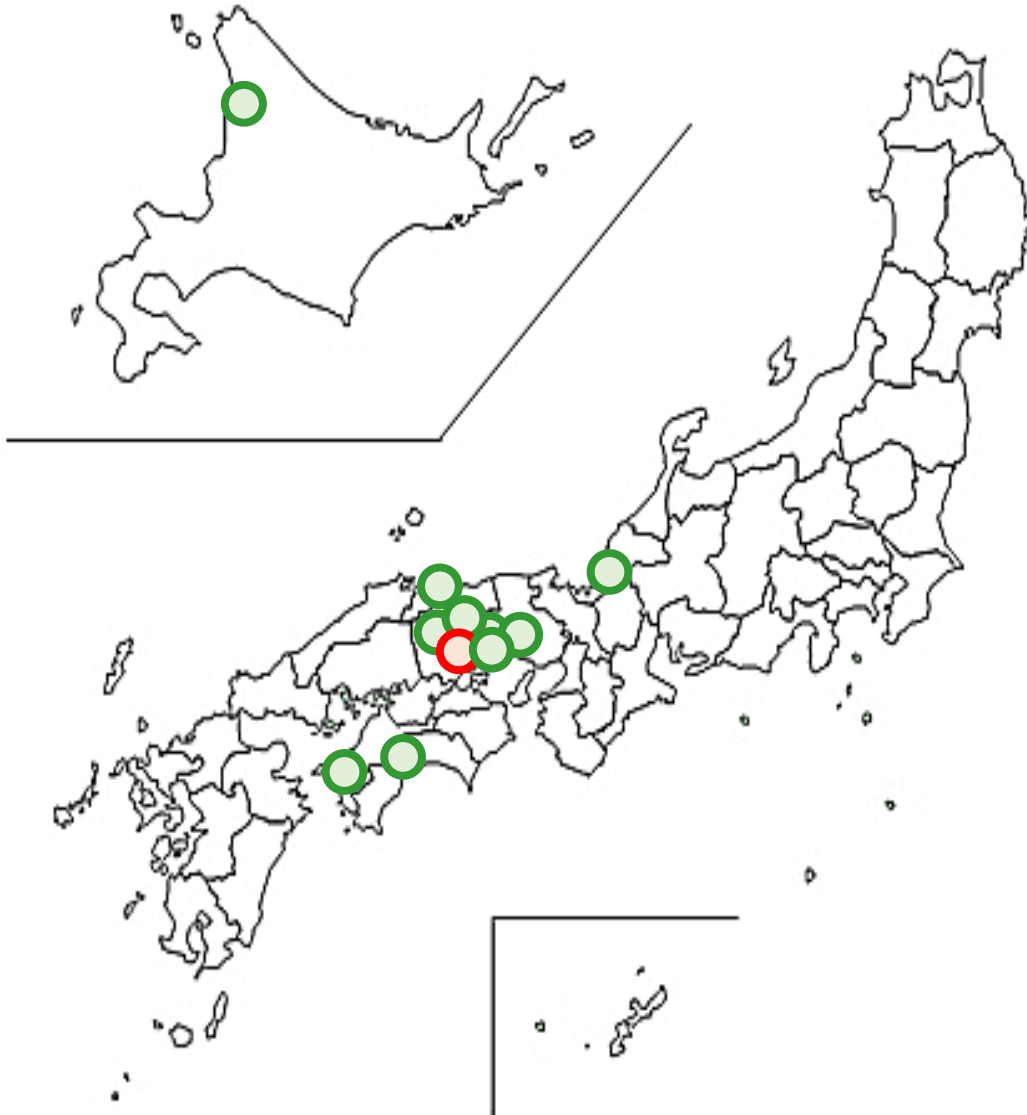
林業事業者

★ 総務省「ICT街づくり推進事業」及び「ICTまち・ひと・しごと創生推進事業」の成果 ⇒ 成功事例として全国に横展開中

★ 林野庁「森林クラウドシステム標準仕様」に準拠

# 森林ICTプラットフォームの普及状況

11市町村に普及(H28事業のうち計画中のものを含む)



## 真庭モデル

H25 総務省  
ICT街づくり  
推進事業

・岡山県真庭市

※真庭の森林を活かすICT地域づくりプロジェクト

## 岡山モデル

H26 総務省  
ICT街づくり  
推進事業

・岡山県美作市  
・岡山県美咲町  
・岡山県鏡野町

## 全国モデル

H27 総務省  
ICTまち・ひと・しごと  
創生推進事業

・北海道中川町  
・兵庫県佐用町  
・福井県高浜町  
・鳥取県三朝町

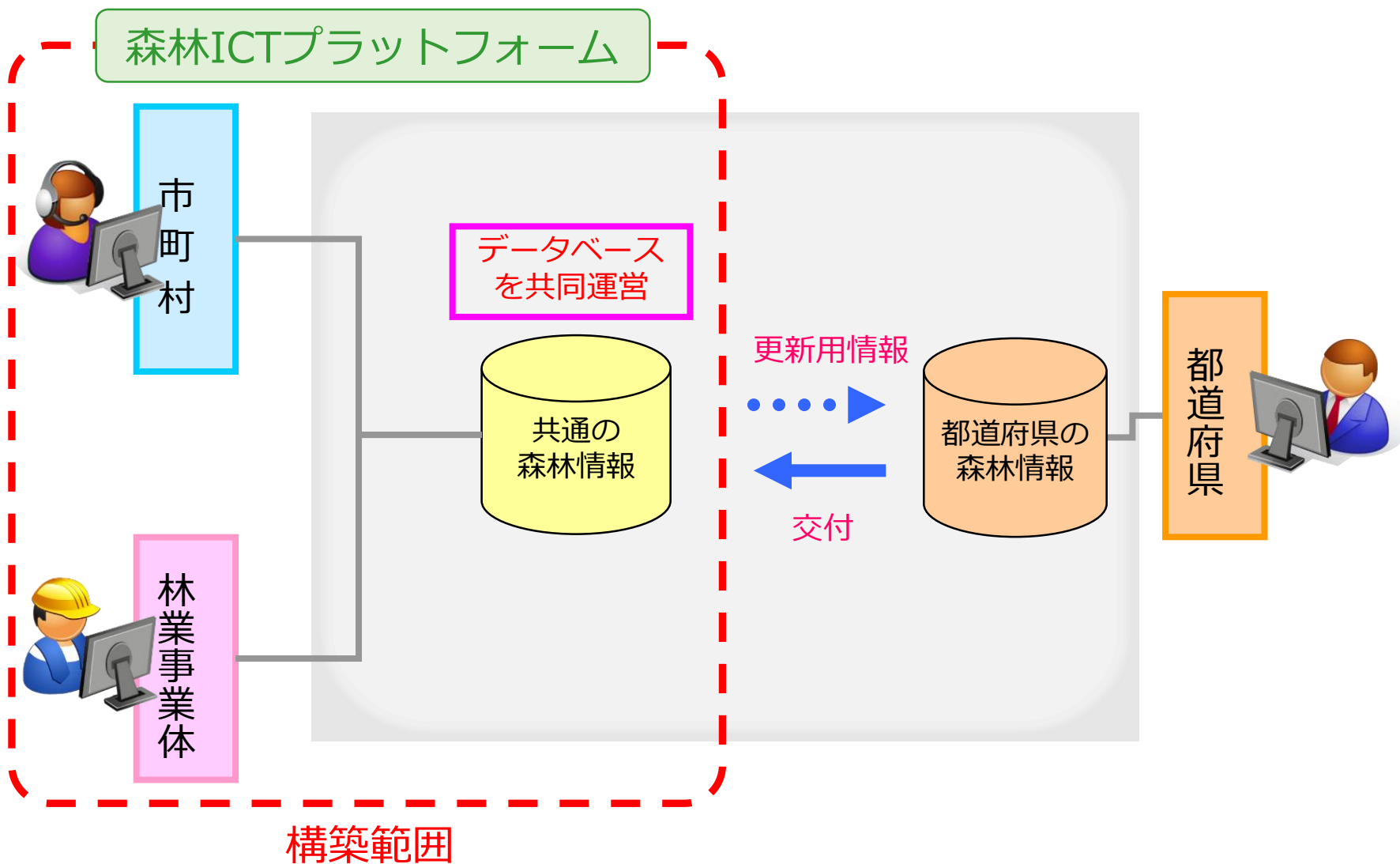
## 普及展開

H28 総務省  
ICTまち・ひと・しごと  
創生推進事業

・愛媛県西予市  
・その他数自治体で  
現在計画中

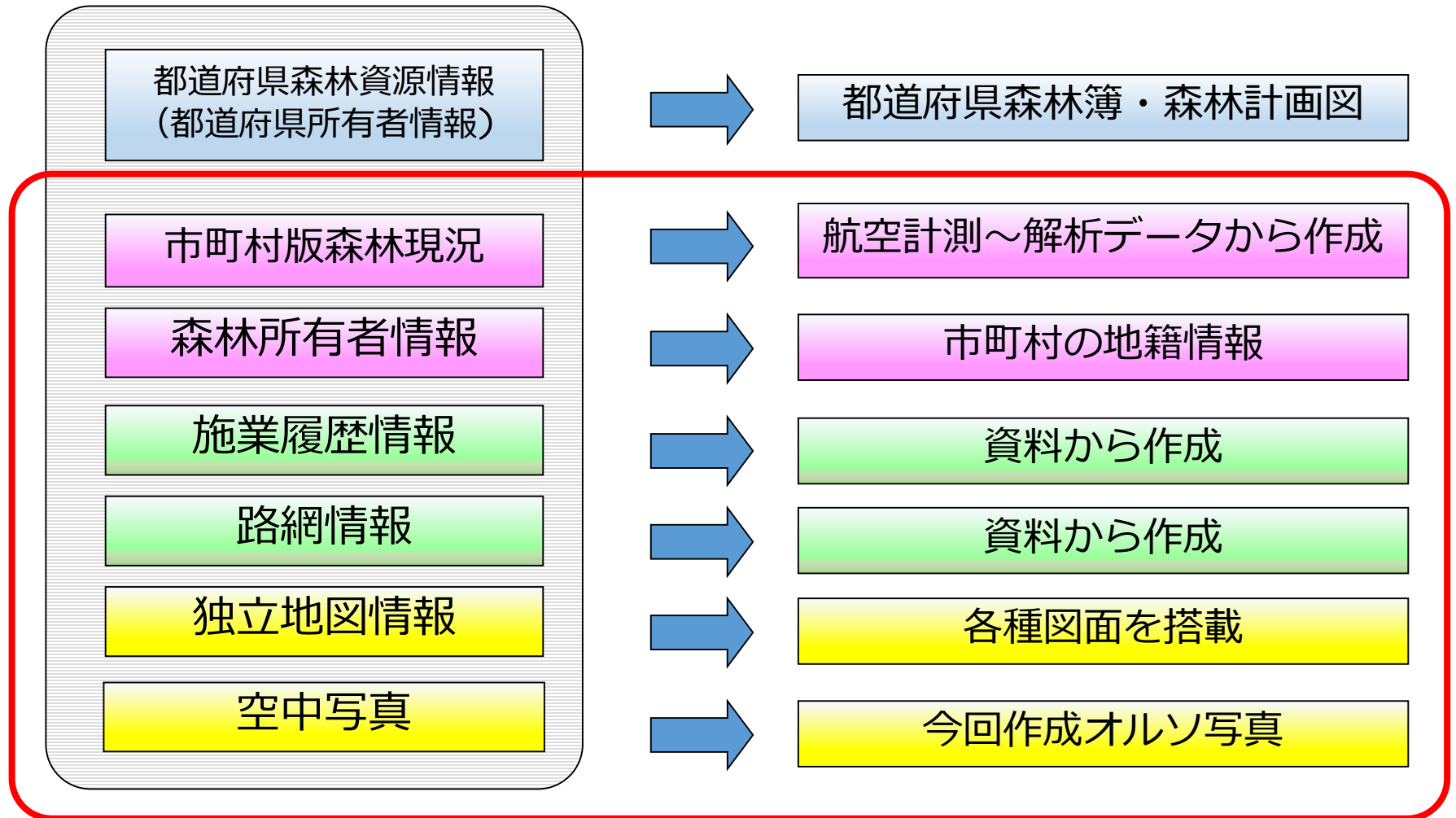
# 森林ICTプラットフォームの概要

## システムの概念図と構築範囲



# 森林ICTプラットフォーム 主要なデータ

## 森林ICTプラットフォーム：主要データ



林野庁森林クラウドシステム標準化事業の標準仕様を採用

# 「森林クラウドシステム標準仕様」採用の効果

## 効果①：導入決定から稼働までのスケジュールを大幅に短縮

### ● システム導入時：市町村担当者様からの声

森林GISには詳しくないし、システムの仕様を検討するのは難しそう。



通常業務だけで手一杯。仕事が増えることにならないかな？

他部署から移動してきたばかり。正直、林業って何から始めれば・・・。



### ● 標準仕様を採用することで・・・

★ システム導入時に仕様を独自に検討する手間が省ける。

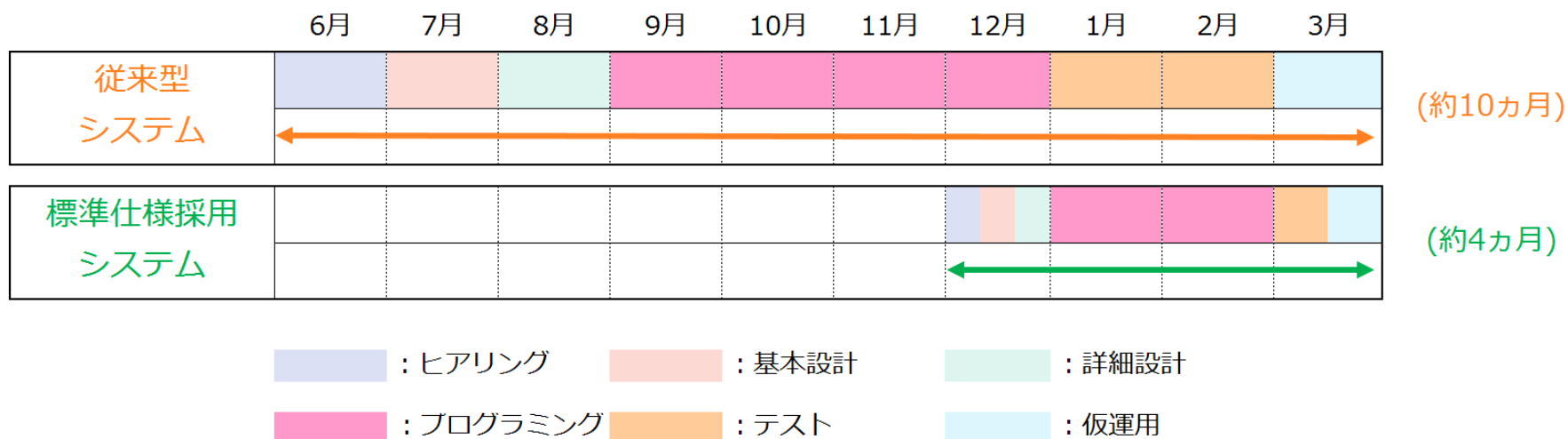
★ システム構築に際して、関係者間の合意形成を図りやすい。

★ 森林備整や林業振興に必要な十分なデータが網羅されている。

# 「森林クラウドシステム標準仕様」採用の効果

効果①：導入決定から稼働までのスケジュールを大幅に短縮

## ● システム導入のスケジュール比較（従来型システムと標準仕様採用システム）

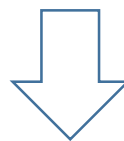


★ システム導入決定から稼働までの期間を4か月に短縮

# 「森林クラウドシステム標準仕様」採用の効果

## 効果②：システム構築コストの大幅な削減

★ ベースに標準仕様を採用した全国共通のシステムを構築しているため、ユーザーが低コストでシステムを導入できる。



★ 地域独特の森林管理に応じた機能のカスタマイズ等が可能に。

### ★ 地域独得の森林管理に対応

- ・天然林管理
- ・獣害対策
- ・地籍調査未了地域への対応

### ★ 多種多様なデータ整備が可能

- ・林相区分
- ・路網情報
- ・災害危険地区
- ・施業履歴
- ・保安林情報

### ★ 最新技術への対応

- ・航空レーザー計測技術への対応
- ・UAV撮影画像の取込み

### ★ システム機能の高度化

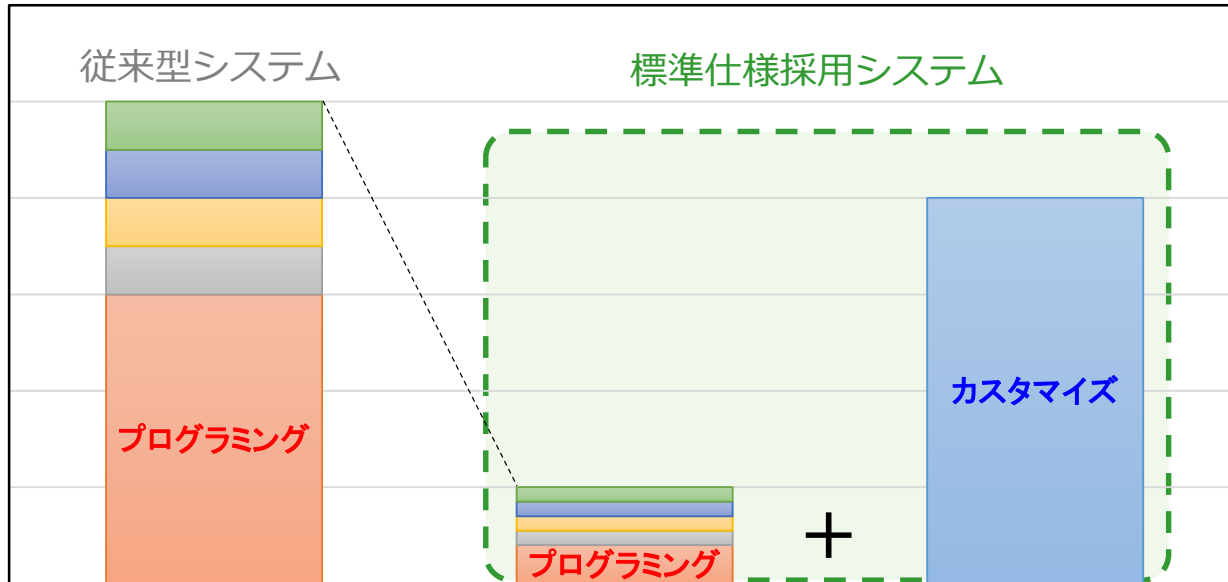
- ・各種タブレット版端末対応
- ・Web版GISの開発
- ・森林経営計画の進捗管理機能



# 「森林クラウドシステム標準仕様」採用の効果

## 効果②：システム構築コストの大幅な削減

### ● システム構築費用比較のイメージ



★ 異なる都道府県でも同様のコストダウンを実現

# 森林・林業における市町村・林業事業体の役割

## 市町村の役割

★ 森林・林業の担い手は、市町村に移行されつつある。

⇒特に「林地台帳関連業務」

★ 地域活性化のために林業を振興する役割も担う。

⇒業務の範疇が「許認可業務」意外の多岐に

## 林業事業体の役割

★ 地域の森林整備・林業振興の中心的担い手として不可欠。

⇒施業の中心が「育林」から「伐採・搬出」のステージへ移行しつつある

⇒素材を有利販売、森林所有者への収益の還元が求められる

⇒施業の集約化がこれまで以上に重要

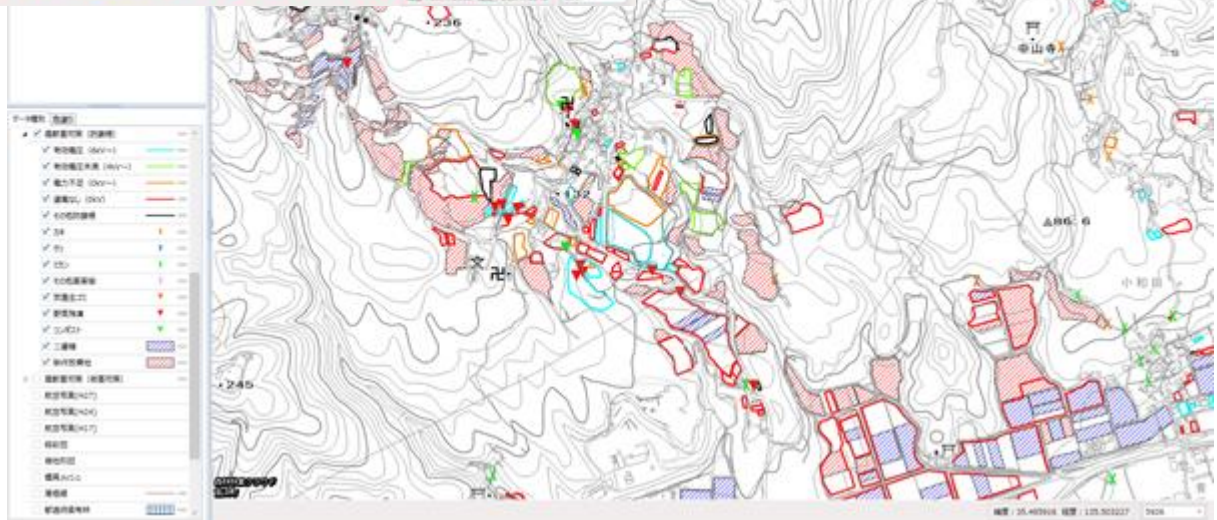
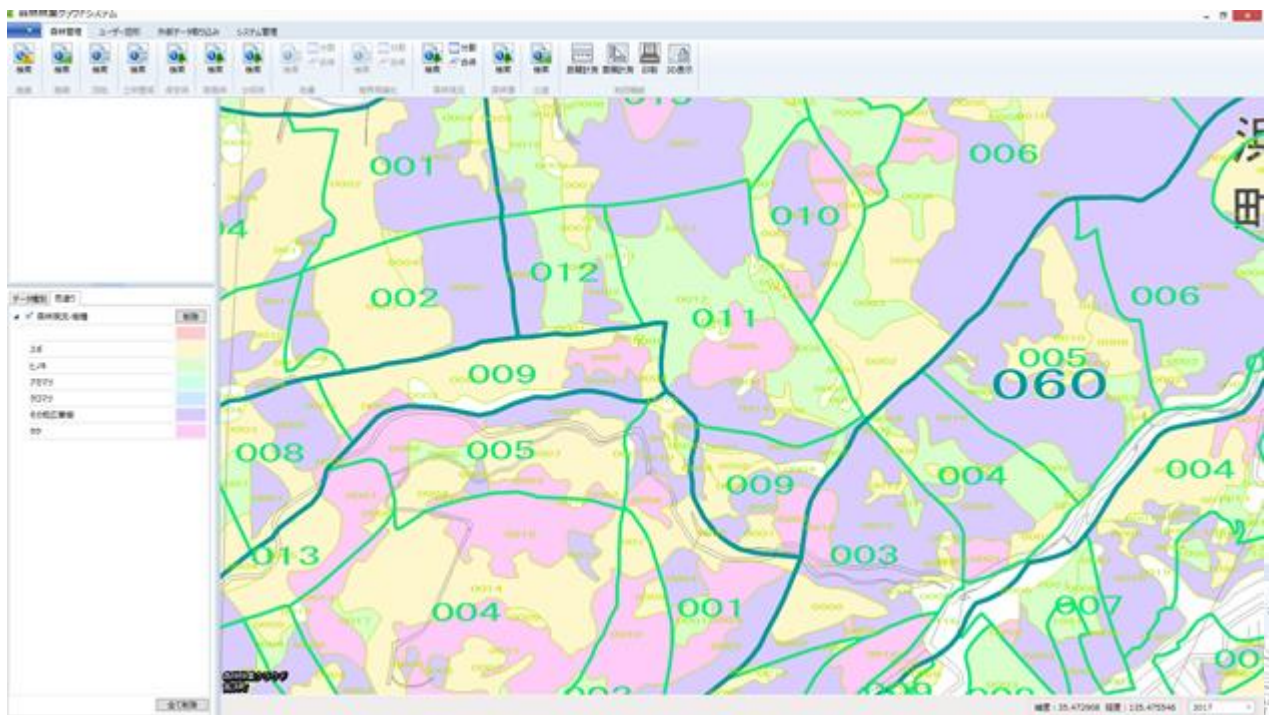


★ 地域の森林情報を効率よく整備する必要性 ⇒ 「標準仕様」の採用

★ 地域独特の森林管理手法に対応したシステム構築 ⇒ カスタマイズ

# カスタマイズ例①

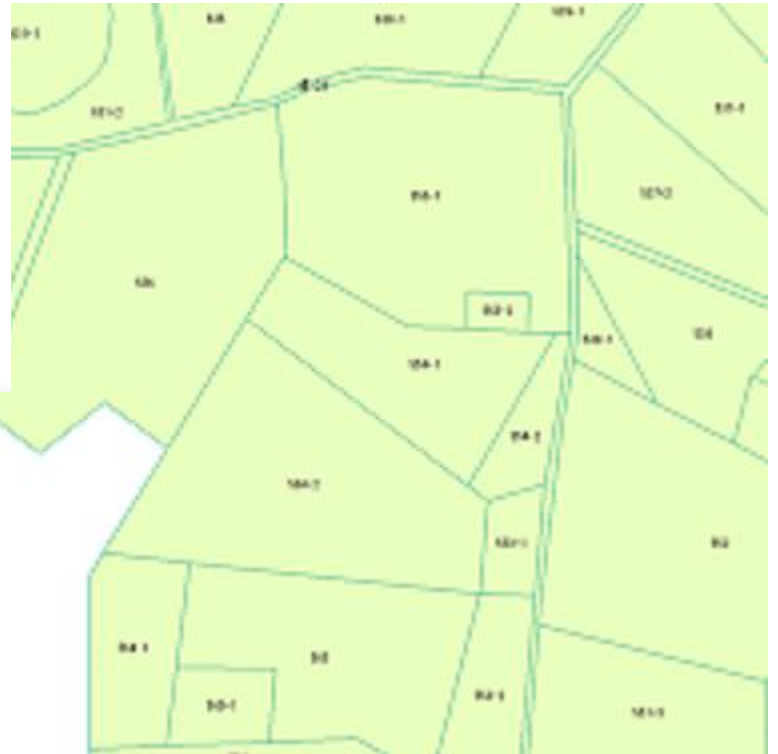
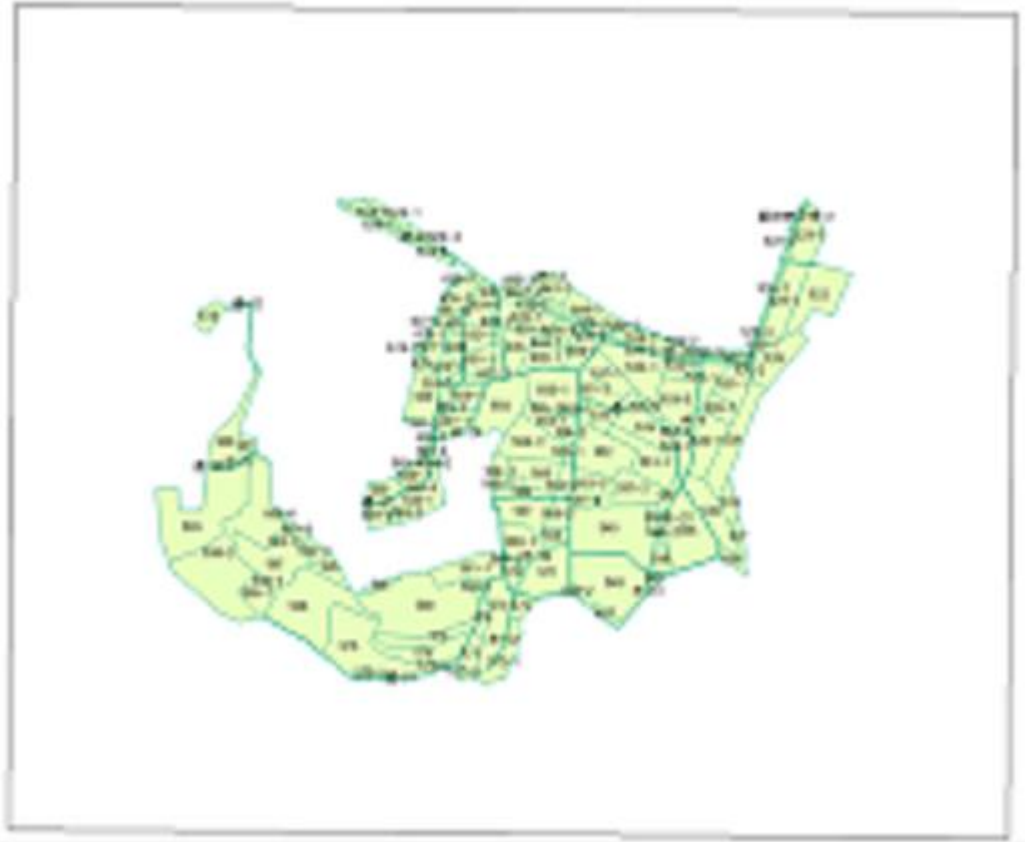
林相区分 (切り直し)



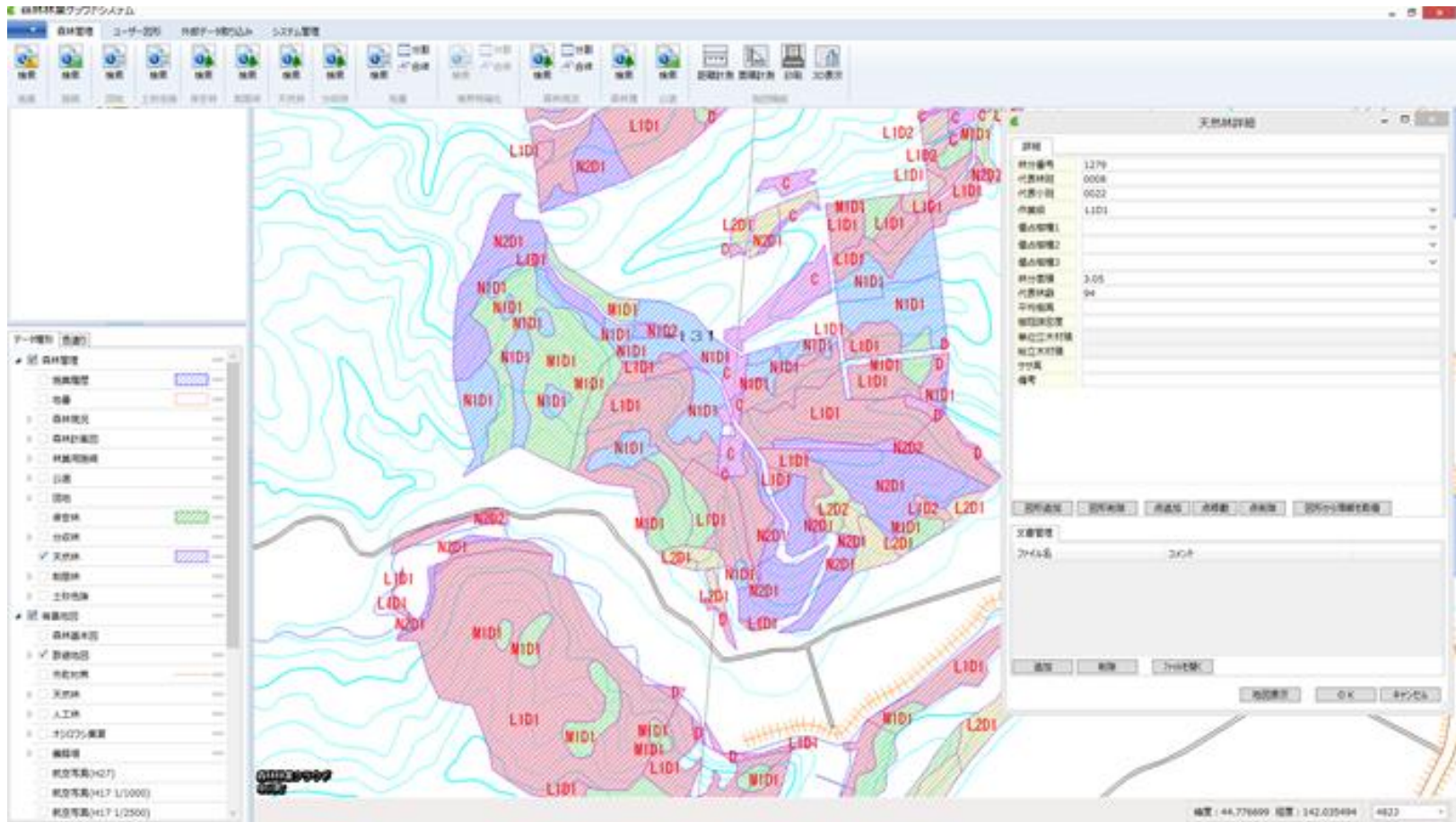
獣害対策

# カスタマイズ例②

公図情報



# カスタマイズ例③



天然林管理

# カスタマイズ例④

The screenshot displays a web-based forestry management tool. The main interface includes a map with various colored overlays representing different forest management zones. On the left, there is a sidebar with a search bar and a list of layers to be displayed, each with a visibility toggle and a zoom level. A '情報追加/ベースマップ切替' (Add Information/Change Base Map) button is at the top of the sidebar. A '機能' (Function) button is in the top right corner. A central popup window shows detailed information for a selected area (ID: 059-03-015-02). The popup contains a table with the following data:

059-03-015-02	
林班	059
小班	03
施業	015
施業枝番	02
林相面積	0.94
林相樹種名	ヒノキ
林地利用	48

Below the popup, a '属性リスト > 主観図' (Attribute List > Main View) window is open, showing a list of attributes with their visibility status. The 'OFF' checkbox is checked, and the text '表示範囲に絞込み' (Filter to display range) is visible. The list includes:

- 施業履歴
- 地番
- 森林計画図 (林班)
- 森林計画図 (小班)
- 森林計画図 (施業)
- 市町村森林現況
- 路線
- 市町村村界

The map itself shows various forest management zones with labels like '59-1', '68-6', '59-3', and '59-7'. A red square on the map indicates the location of the popup window. A small inset map in the bottom right corner shows the current map's location within a larger geographical context.

自伐林家用Webツール

# 標準仕様への期待

## 標準仕様のブラッシュアップ①(水平展開)

### ★ 地域性の取込み

⇒地域独得の森林管理手法の中には標準化すべき優れた手法も

### ★ 川中～川下への拡大

⇒流通・エンドユーザーまで含めたトータルでの取組みが必要

## 標準仕様のブラッシュアップ②(垂直展開)

### ★ 新技術への対応

⇒航空レーザー計測を用いた林地解析結果の活用

⇒地上3Dレーザー計測結果の活用

⇒UAV撮影データの取込み

## 標準仕様の更なる普及

### ★ 都道府県の標準仕様採用の推進

⇒市町村と都道府県が連携を深めるために必要不可欠